

協力隊 が行く!

今月の担当は おうはし隊員です!



▲九州移住ドラフト会議プレゼン前の様子

皆さんお久しぶりです! 前回の11月は取材でしたのでお忘れの方もいるかもしれませんが、去年8月に移住してきた大橋です。笑
移住して半年となるこの節目に、なぜ移住したか? 移住してどうだったか? これから何をするのか? を書いていきたいと思ひます。

■都会での生活から移住まで
埼玉県草加市で育ち、通学通勤の満員電車がたらずぎて大学以降は都心に住んでいました。子供の頃から世界とつながっているインターネットのすごさを感じており、IT業界に新卒で入社しました。就職活動の時はシステムエンジニア採用だったのですが、研修期間中に同期での飲み会を企画し続けていたら、まさかの営業配属に。笑(研修最終日は100人越えの飲み会を実施し流れの早いIT業界の中で、さらに営業という常に顧客・競合・同僚と比較され競争するシビアな環境で報酬や自己実現のためにIT業界の営業職の軸は変えずに外資系も含め4社を渡り歩きました。

毎年降りかかってくる自分の身の丈を超えた営業目標の数字。死ぬ気でなんとか達成しても、また翌年度はリセット。自分の体力、精神力、時間を限界まで費やし、お金に変えるような仕事でした。商材、顧客、会社を変えながら、新卒から約15年、気付いたのは人生100年時代、この仕事をあと40年も50年も続けていくのは難しいということ。

営業という職種を変える? ITという業界を変える?? どうせ今までの経験やスキルをゼロリセットするならば、いっそもっと大胆に! やってみたかった移

住という選択肢が現実的になった時でした。

■移住してどうか?
東京にいた時と比べると180度違う生活をしている感覚です。最も違うのは仕事に対してのやりがい。東京にいた頃の私と同じような方が知り合いだけでも数えきれないほどいます。そういった方に移住の選択肢があることを知ってほしい。むしろ移住しなくてもワーケーションや副業、リモートワーク、今は地域とさまざまな形で関わることができると思います。その選択肢に私の好きな枕崎を入れてもえたらこれ以上のことはないと思っています。

■これからの活動について
ずっと住まれている方とは違う感覚かもしれませんが、私から見ると東京と全然違うこの街は魅力溢れるまちです。本土南端の鹿児島、さらに最南端という立地は弱みにも、強みにもなります。この素晴らしい魅力に溢れるまち、枕崎をもっといろいろな方に知ってもらい、好きになってもらい、その好き! という気持ちをもっと、海外にも波及していきたいと思っています。協力隊イベントや移住ドラフト会議の参加、企業とのコラボなど、いろいろと仕掛けていきますのでどうぞご期待ください!!

10周年で 深まった絆 今後とも末長い お付き合いを



稚内通信 vol.6

このコーナーでは、友好都市締結10周年を記念して、両市の広報紙で紙面交流を行っています。最終回となる今月は、今年度行われた両市間の交流事業を振り返ります。

10月 ■稚内市民訪問団が枕崎市を訪問



8月 ■両駅訪問者に来駅証明書とフォトフレーム(抽選)をプレゼント



11月 ■東京都庁で「幸せコンカツフェア」を開催



8月 ■枕崎市の中学・高校生が稚内市で交流事業



6月 ■枕崎市民訪問団が稚内市を訪問



10周年を振り返って

令和4年4月28日に友好都市締結10周年を迎えた両市。今年度は記念事業としてさまざまな交流を行いました。

6月には枕崎市民訪問団25名が稚内市を訪問し、熱烈的な歓迎を受けました。訪問団は、観光地を巡りながら稚内の歴史を学び、歓迎交流会で絆を深めました。

8月には枕崎市の中学・高校生と引率者16名が青少年交流派遣団として稚内市を訪問し、地元の高校生たちとの交流を行いました。また、交流のきっかけとなった稚内駅と枕崎駅を訪れた方を対象とした記念証明書の発行やフォトフレーム抽選のプレゼント事業をスタートしました。

10月には稚内市民訪問団38名が枕崎市を訪問し、火の神乙女太鼓「爽」の演奏や明治蔵の見学等を楽しみました。また、6月に稚内市を訪問した市民も参加した歓迎交流会は大いに盛り上がりしました。

11月に開催された幸せコンカツフェアでは、出汁の効いた物産展に多くの人出がありました。10周年の節目に、さまざまな形で交流を深めることができた両市。これから20年、30年と、さらに絆を深めていきましょう。

問合せ 枕崎市総務課秘書広報係
TEL 7210033
稚内市企画調整課広報・広聴グループ
TEL 016212316387

市長

コラム

vol.46



人間力が試される時代

こんにちは。前田祝成です。
今年も、1カ月がすぎました。
二年の計は元且にあり」と申しますが、皆さんは今年の計、つまり目標や夢をどのように立てられたでしょうか。
昨年を振り返りますと、2月のロシアによるウクライナ侵攻7月の安倍晋三元総理大臣の暗殺事件、それらに端を発したエネルギー価格高騰、原材料価格高騰などによる相次ぐ値上げや参議院選挙後の不安定な国内政治情勢、内閣の支持率低下、国内外で起きた大きな出来事が、私たちの暮らしに直接、影響を及ぼすことをあらためて認識させられた一年でした。世界中の人たちが「まさか、やらないだろう」と思っていた国連常任理事国の軍事侵攻。白昼堂々、国政選挙の演説中に元総理大臣の暗殺という誰も想像していなかったことが起こった現実。世界中で、何が起ころうもおかしくない、とても不安定な時代が到来したと感じさせる一年が昨年だったのではないのでしょうか。
そんな時代に、私たちはどう暮らしていけば良いのでしょうか。どのような将来設計を描いていけば良いのでしょうか。ただ、昨年起こった大きな2つの出来事は、人間の手に負えない大規模な自然災害のようなものではなく、すべて人間が引き起こした出来事です。ということは、人間の力で防げることです。人間の知恵で解決できるはず。いよいよ、一人一人の人間力が試される時代が来たのかもしれない。目の前で起こっていることは、自分も含めて、すべて人間が起こしていること。そのことをまず基本に、一つ一つ丁寧に対応していくしかないのかもしれない。
難しい時代だからこそ、知恵を絞って常に前向きに進んでいきたいと思ひます。それぞれが思い描いた二年の計に向かおう。

歓迎!! ようこそ枕崎へ!

1月から3月にかけて、多くの野球チームが枕崎市営野球場にて合宿を行います。日程は以下のとおりです。

- チョンダム高校 野球部
1月10日(火)～2月10日(金)
- 仙台育英高校 野球部
2月13日(月)～2月27日(月)
- 筑波大学 野球部
3月1日(水)～3月10日(金)
- 九州大学 準硬式野球部
3月13日(月)～3月16日(木)



▲チョンダム高校野球部合宿の様子

しゃらく立神写真展

枕崎の写真グループ「しゃらく立神」による作品展。風景や日常のひとこまなどを撮影した作品や「マクロの世界」「色調(ブルー)」を課題とした作品も展示されます。

- 会期 2月7日(火)～3月5日(日)
※月曜日休館
- 会場 南浜館(第1展示場)
- 観覧料 無料

燃ゆる感動かごしま国体 ～枕崎市ポスターコンクール展

今年10月に開催される国体なごなた競技をテーマに、本市の児童、生徒(小・中学校、高校)を対象とした絵画コンクールを実施し、その入賞入選作品を展示いたします。

- 期間 3月7日(火)～3月12日(日)
- 会場 南浜館(市民ギャラリー)
- 観覧料 無料

スポーツ・文化 イベント情報

南浜館

- 開 9:00～17:00
※入館は16:30まで
- 休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
- 問 スポーツ・文化振興課
TEL 72-9998